

徳島県歯科口腔保健推進計画改定の概要について（案）

1 計画改定の趣旨

本県では、平成23年8月に施行された「歯科口腔保健の推進に関する法律」第13条に基づき、歯科口腔保健の推進に関する施策の総合的な実施のための方針、目標、計画その他の基本的事項として定めるとともに、歯と口腔の健康づくりの推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成24年2月に施行された「笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例」第9条に基づき、「徳島県歯科口腔保健推進計画」を策定している。

令和5年度が計画の終期となる中、国より「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項（第2次）（歯・口腔の健康づくりプラン）」（R6～R17）が示されたことを受け、本県においてもより一層の推進を図るため、計画の改定を行う。

2 計画期間

令和6年度から令和11年度まで（6年間）

3 基本方針

- （1）ライフステージ及びライフコース等に応じた歯と口腔の健康づくりの推進
- （2）歯と口腔の健康づくり推進のための環境整備・連携推進

4 基本目標

歯と口腔の健康づくりで生涯健康とくしまの実現を目指す

- （1）健康水準目標
- （2）行動目標
- （3）環境整備目標

5 改定の概要

県民の歯と口腔の健康づくりを推進するため、現行の計画と比較して、さらに現状や国の示した新たな方向性を踏まえた取組を推進するための計画を策定する。

6 改定の時期

令和6年3月（予定）

徳島県歯科口腔保健推進計画の進捗状況について

評価:A 目標に達した B 目標に達していないが改善傾向にある C 変わらない D 悪化している E 現状値なし

目標項目	ベースライン	目標値	現状値	評価	現状値出典
		令和5年度			
健康水準目標					
3歳児でのう蝕のない者の増加	75.6%(H27)	90.0%	87.8%	B	地域保健・健康増進事業報告(R3)
3歳児での1人平均う蝕数の減少	0.78歯(H27)	0.60歯	0.46歯	A	地域保健・健康増進事業報告(R3)
12歳児でのう蝕のない者の増加	54.8%(H28)	65.0%	65.7%	A	学校保健統計調査(R3)
中学生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	6.3%(H28)	4.5%	4.0%	A	学校保健統計調査(R3)
高校生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	4.1%(H28)	2.5%	5.4%	D	学校保健統計調査(R3)
40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	51.0%(H28)	30.0%	－	E	県歯科保健実態調査
40歳代の未処置歯を有する者の減少	43.1%(H28)	10.0%	－	E	県歯科保健実態調査
50歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	70.1%(H28)	40.0%	－	E	県歯科保健実態調査
60歳代の未処置歯を有する者の減少	33.1%(H28)	10.0%	－	E	県歯科保健実態調査
60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	59.6%(H28)	50.0%	－	E	県歯科保健実態調査
60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の増加	76.4%(H28)	75%以上を維持	－	E	県歯科保健実態調査
80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の増加	36.7%(H28)	50.0%	－	E	県歯科保健実態調査
3歳児での不正咬合等が認められる者の減少	20.2%(H27)	20.0%	25.3%	D	地域保健・健康増進事業報告(R3)
70歳以上で飲み込みにくさを自覚している者の減少	32.3%(H28)	25.0%	集計中	E	県歯科保健実態調査
行動目標					
過去1年間に歯科健診を受診した人の増加	52.5%(H28)	60%以上	集計中	E	県歯科保健実態調査
デンタルフロスや歯間ブラシ等を使用する人の増加	36.3%(H28)	50%以上	集計中	E	県歯科保健実態調査
喫煙が歯周病の進行を早めたり歯ぐきの回復を阻害することを知っている人の増加	61.3%(H28)	80.0%	集計中	E	県歯科保健実態調査
歯周病があると糖尿病が悪化することがあるのを知っている人の増加	57.3%(H28)	80.0%	集計中	E	県歯科保健実態調査
口の中を清潔にすることが肺炎予防につながることを知っている人の増加	60.1%(H28)	70.0%	集計中	E	県歯科保健実態調査
環境整備目標					
妊婦対象の歯科保健事業や保健指導を実施している市町村数の増加	15市町(H29)	24市町村	9市町	D	市町村歯科保健事業の実施状況調査(R4)
健康増進法に基づく歯周疾患検診を実施している市町村数の増加	17市町(H29)	24市町村	23市町村	B	市町村歯科保健事業の実施状況調査(R4)
介護予防事業で口腔機能向上関係のプログラムを組んでいる市町村数の増加	13市町(H29)	24市町村	17市町	B	介護予防事業の市町村実施状況調査(R4.4.1)
在宅療養支援歯科診療所数の増加	188か所(H29)	300か所	118か所	D	診療報酬施設基準(R3)
特別養護老人ホーム、介護老人保健施設における口腔機能の維持管理体制を整備している事業所割合の増加	61.1%(H29)	100.0%	65.0%	B	口腔機能維持管理体制加算の算定状況調査(R3.3末)
障がい者(児)入所施設での定期的な歯科健診実施率の増加	100.0%(H29)	100%を維持	96.0%	D	障がい児入所施設及び障がい者支援施設歯科口腔保健状況調査(R4)

＜評価＞

A 目標に達した	3
B 目標に達していないが、改善傾向にある	4
C 変わらない	0
D 悪化している	5
E 現状値なし	13

第1章 計画策定の基本的な考え方

- 1 計画策定の趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間

第2章 歯と口腔の健康づくりの現状と課題

- 1 う蝕（むし歯）と歯周病の罹患状況
- 2 歯と口腔に関する意識と行動の状況
- 3 歯と口腔の健康づくりを支援する社会資源の状況
- 4 前計画における目標の進捗状況と評価

第3章 目指す歯と口腔の健康づくりの方向

- 1 基本理念
- 2 基本方針

★ライフコースについて追記

- （1）ライフステージ及びライフコース等に応じた歯と口腔の健康づくりの推進 ★
- （2）歯と口腔の健康づくり推進のための環境整備・連携推進

第4章 目標

- 1 健康水準目標
- 2 行動目標
- 3 環境整備目標

第5章 歯と口腔の健康づくりの施策

- 1 重点的に取り組む項目

- （1）妊娠期及び乳幼児期等の歯科保健対策
- （2）歯周病対策
- （3）地域連携の推進

- 2 具体的施策

- （1）ライフステージ及びライフコース等に応じた歯と口腔の健康づくりの推進 ★

- ① 妊娠期（妊婦、胎児）
- ② 乳幼児期（0～5歳）
- ③ 学齢期（6～17歳）
- ④ 成人期（18～64歳）
- ⑤ 高齢期（65歳以上）
- ⑥ 障がい者（児）

★ライフコースアプローチも踏まえた
施策、年齢層の分類等について検討

- （2）歯と口腔の健康づくり推進のための環境整備・連携推進

- ① 歯と口腔の健康づくりに携わる人材の確保及び資質の向上
- ② 関係機関の連携推進及び情報の共有と活用

第6章 計画の推進

- 1 計画の推進体制
- 2 関係者・団体等の役割